

福島県富岡町「グリーンベルト実現に向けた民間活力の活用」

目的・背景

「富岡駅東地区」の移転元地等を、「遊休グリーンベルト」として活用していくための実現方策や保全の方向性を検討

- ・ 約35haの災害危険区域について、「富岡町災害復興計画（第二次）」に「遊休グリーンベルト」として位置づけたが、広大な面積の緑化・維持管理には多額の費用も必要と想定され、具体化が進んでいなかった。
- ・ 一方で、移転元地を活用するプレイヤーが想定される場所もあったが、移転元地と民有地がモザイク状に存在していたことにより、ニーズを活かしづらかった。

取組とその効果

- 1 庁内の情報集約や意見調整を進め、エリアのポテンシャル等を踏まえ、民間事業者の活用により段階的に土地活用を進める方針を決定。
- 2 富岡駅東地区について先行的に取組を進めることとし、移転元地の集約を推進。
- 3 民間活動を通じて緑、農による土地利用を実現するため、公募等によるプレイヤーの確保方策を検討。

取組経過

- 6～9月 庁内の各部署から土地利用動向を収集・整理し全体像を可視化。民間ニーズや活用による景観改善効果等を踏まえて取組を優先すべきエリアを検討。
- 10月～ 常磐線沿線で景観改善の効果が高く、かつ民間による活用が期待される富岡駅東地区について、移転元地の土地交換契約に着手。土地活用に向けた土地の交換集約を推進。
- 11～2月 土地の交換集約の進捗と合わせて、他自治体の民間活用の取組事例を参考に、民間活動により地域資源を活用した農、緑による土地利用を実現するための方策を検討。

今後の方向性

「遊休グリーンベルト」の実現に向けた段階的な土地活用の推進
例：富岡駅東地区における民間プレイヤーの確保に向けた取組み

位置図



航空写真



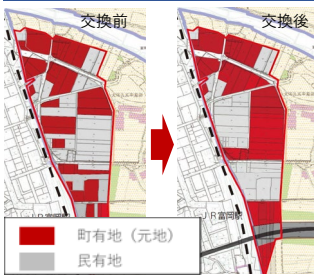
富岡駅東地区（太平洋側より）

取組の様子



富岡町復興推進会議での協議

取組成果イメージ



移転元地の集約イメージ（左：図面、右：空撮写真）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <紅葉川右岸エリア>
工事ヤードとして利用されており、今後、土地利用動向等踏まえて土地活用を検討
※ 当面、あまり手を加えずに保全する | <紅葉川左岸エリア>
工事ヤードとして利用されており、今後、土地利用動向等踏まえて土地活用を検討
※ 当面、あまり手を加えずに保全する | <駅東側エリア>
工事ヤード利用が終わる見込みであり、土地交換の進捗（町有地の集約）を踏まえて早期の土地活用を検討
※ 町の駅として、人を呼び込むエントランスとなるエリアを、民間利用の誘導により実現 | <富岡川左岸エリア>
工事ヤード利用が終わる見込みであり、駅東側エリアでの検討を踏まえて土地活用を検討
※ 市街地に近い立地、富岡川の資源を活かしたエリアを、駅東側エリアとともに検討 |
|--|--|--|--|



「遊休グリーンベルト」の段階的な土地活用の検討